

教育委員会会議録（９月定例会）

日 時

令和 6 年 9 月 2 6 日（木）
午後 1 時 3 0 分から午後 1 時 5 9 分まで

場 所

日立市役所 3 0 4 ・ 3 0 5 号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	朝日 華子
委 員	上村 由美
委 員	小野 智久

委員以外の出席者

教育部長	宮内 雅弘
理事	窪田 康德
総務課長	作山 直弘
総務課課長	高橋美奈子
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	北見 裕
学務課課長	富岡 道雄
学校再編課長	酒地 康彦
学校再編課課長	鈴木 康世
生涯学習課長	齋藤 広美
スポーツ振興課長	玉置 伸一
スポーツ振興課課長	市原 慎也
指導課長	青木 房子
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	島崎 信彦
北部学校給食共同調理場長	根田 容子
教育研究所長	諸橋 正和
子ども施設課長	武藤さとみ
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	西野 晃平
総務課係長	澤田 貴子
総務課主事	上遠野 宰

議 事

報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

その他

- (1) 令和 6 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 令和 7 年度日立市立幼稚園等の園児募集について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 9 月定例会を開会します。

本日は、傍聴者はありません。

2 報 告 報 告 第 9 号

教育委員会 8 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 9 号について、御意見等はございませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 そ の 他

(1) 令和 6 年第 3 回市議会定例会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、御質問や御意見はございますか。

委 員 冷房設備の設置に関する質問が多い気がします。
日立市は、公共施設マネジメント基本方針ができていているかと思いますが、教育関連施設についても、中期計画等を作っているのかを伺いたいです。

また、多額の予算を要する設備ですので、抜本的な方針などがあれば伺いたいです。

学校施設課長 公共施設マネジメント基本方針では、学校施設の目標耐用年数を 80 年といたしまして、定期的な予防保全、大規模な改修工事を行い、施設の長寿命化や、歳出の平準化を図ることとしております。今までは、この方針を学校施設の長寿命化計画として位置付けておりましたが、昨年度から文部科学省のインフラ長寿命化計画や、公共施設マネジメント方針に基づきまして、学校施設の長寿命化計画の策定作業を進めているところでございます。

現在、長寿命化計画につきましては、施設の老朽化の度合いや、学校再編計画などを踏まえて、施設整備の優先順位付けを行っているところでございます。

また、抜本的な方針については、トータルコストの削減をするために、長寿命化計画を進めていくことを考えております。費用の軽減、縮減に向けて、進めていきたいと考えております。

委員 旧中里小学校を活用した地域の活性化に関連した質問ですが、他に閉校などで使っていない学校があると思いますが、活用について検討しているのか伺いたいです。

学校再編課長 中里小学校の他に、東小沢小学校が閉校しております。
東小沢小学校についても、学校跡地活用検討委員会において、活用策を検討しているところではございますが、久慈川の浸水エリアということもあり、具体的な案は決まっていない状況でございます。
学校の跡地につきましては、市民の貴重な財産として有効な活用策を検討してまいります。

委員 公設児童クラブの利便性向上について、「弾力的に入所を認めている」と答弁していますが、一時預かりとは違う区分で入所を認めているということでしょうか。

生涯学習課長 対象要件の拡充についての質問でありましたので、児童クラブの一時預かりのみではなく、通常入所の対象要件についても弾力的に入所を認めているということでございます。

委員 学校跡地活用検討委員会の主管課は、教育委員会なのでしょうか。

学校再編課長 学校跡地活用検討委員会の事務局は、学校再編課でございますが、他課とも連携をしながら、様々な視点で跡地活用を議論しているところでございます。

委員 部活動地域移行についてですが、地域移行の受皿としての地域スポーツクラブや地域コミュニティがしっかり機能するのかを伺いたいです。
また、試行的に行っている本事業が、本格的に運用されるまでの計画について伺いたいです。

指導課長 学校の部活動は、身近な環境で保護者の金銭的負担も少なく、様々な分野の活動に参加できる日本特有のスポーツや音楽の普及の形であったかと思っております。それを支えてきたのが、ボランティアとして部活動に携わる教員です。
しかし、教員の働き方改革などで、その仕組み自体が揺らぎ、ま

た、国では部活動を地域に委ねていく方針を掲げながらも、学校教育の一環との立場は変わらず、部活動の将来像は示されていないのが現状です。

しかし、移行期間は令和7年度末と短い期間となっており、子どもたちが継続してスポーツ文化活動に取り組める環境の構築は、社会問題でありながら、市での対応が求められている現状でございます。

現在、総合型スポーツクラブ3団体に地域移行を委託し、自走できるかの検証中ではございますが、習い事ですので、保護者負担は生じてまいります。また、7月に少年団に向けての説明会を実施し、中学生の受け入れをお願いしてまいりました。現在、90団体中37団体の回答が戻ってきており、「中学生の受け入れができる」、「条件によっては受け入れることができる」と回答した団体は28団体でした。

今後、スポーツ振興課でどういう課題がクリアできれば、中学生の受け入れが可能なのかを調査する予定になっております。

また、地域移行のロードマップを学校や、関係団体には周知したところでございます。

受皿となる団体の確保に努めながら、保護者、児童生徒には、受皿となる団体について、分かりやすく伝えるための冊子作りを検討しています。

現在、指導課とスポーツ振興課で対応しておりますが、市全体を総括し、安定した運営ができる体制の構築が急務であり、実務においても、運営団体の事務処理、指導者派遣のコーディネート等、総合的な事務局の必要性を感じているところでございます。

(2) 令和7年度日立市立幼稚園等の園児募集について

教 育 長 次に、その他(2)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長

まず初めに、日立市立幼稚園、認定こども園（1号認定）在園児数及び募集人数の表を御覧ください。この表は、来年4月の入園募集を行う市立幼稚園等について、本年9月1日現在の園児数と募集人数をお示したものでございます。来年度は、4つの園で募集となります。募集人数でございますが、4歳児につきましては、楢形幼稚園及び大沼幼稚園が30人、みやた認定こども園及びはなやま認定こども園が15人、5歳児につきましては、みやた認定こども園が募集なし、それ以外の3園は若干名の募集となります。なお、今年4月から休園している田尻幼稚園は、今年度末で閉園となる予定でございます。

幼稚園におきましては、市立幼稚園、私立幼稚園共に、少子化の

進展及び保護者の働き方の変化に伴い、利用者が急激に減少し、供給過剰の状況となっております。そのため、2年連続で新入園児が10人未満となった市立幼稚園につきましては、整理統合を図ってきたところでございます。

その一方、保育園の入園希望者は増えております。保護者の就労などを理由とした保育ニーズが高まっており、この傾向は今後も続くものと考えております。

入園資格につきましては、記載のとおりでございます。

募集方法につきましては、10月1日から各園で入園願書を配布し、10月31日及び11月1日に入園を希望する園に願書を提出していただくこととなっております。

月額保育料につきましては、令和元年10月から実施されている幼児教育・保育の無償化により、無料となっております。

(3) その他

教 育 長 そのほか、案件はありますか。

生涯学習課長 百年塾フェスタ、子どもまつり、ぷら・スポフェスタ2024合同開催についての御説明をいたします。

教育委員会の関連行事といたしまして、合同開催をするものでございます。生涯学習関連行事、スポーツ行事が連携して共同開催することにより、様々な世代の方々が楽しみながら、生涯学習やスポーツに触れる場を創出するものでございます。

日時は、令和6年10月13日日曜日、午前10時から午後3時30分です。

場所は、日立市市民運動公園です。

主催は、記載のとおりでございます。

内容についてですが、百年塾フェスタは、ひたち生き生き百年塾に登録している、市民教授の作品展示、体験コーナー、ダンスなどの実演、日立第二高等学校JRC部の生徒たちのデザイン画に合わせまして、来場者がバラの花びらを飾り付ける、じゅうたんを作成する参加体験ができます。

子どもまつりにつきましては、射的やソフトボウリングなどのゲームコーナーの他に、日立市職業探検少年団の協力で、農業探検少年団の野菜の販売、観光探検少年団の日立市の特産物販売などを実施いたします。

ぷら・スポフェスタ2024は、クライミングや日立市発祥のパンポンなど、子どもから大人まで様々なスポーツ体験が楽しめるイベントとなっております。

次に、第24回青少年のための科学の祭典についての御説明をいたします。

青少年のための科学の祭典は、平成４年に国の委託大会として、東京や大阪などで始まり、全国を一巡し、最終年の平成１２年に茨城大会が日立市で開催され、２日間の会期中に１万８，０００人の来場者を集めました。茨城大会以降に、県内各地で自主大会の輪が広がり、本年度は本市を含め県内４か所で開催の予定でございます。

主催は、青少年のための科学の祭典・日立大会実行委員会です。

共催は、公益財団法人日本科学技術振興財団と日立市民科学文化財団です。

開催の目的は、日常生活や学校では体験の難しい実験や工作を通じて、青少年に科学の楽しさと多様さを体験してもらい、科学への興味や関心を高めてもらうきっかけとするために開催するもので、今回で２４回目の開催となります。

内容につきましては、実験工作ブースや日立市内小中学校の夏休み科学研究作品金賞受賞作品の展示、作者によるミニプレゼンテーションなどが行われます。

記念図書館長 図書館マナブ講座としまして、永井久美子氏講演会の「もっと知りたい！「源氏物語」ドラマや絵巻を読み解く」についての御説明をいたします。

今回の講演では、ドラマで出てきた場面や絵巻で絵画化されている場面、教科書などで取り上げている場面など、皆様が身近に感じるような場面を中心に、ビジュアル資料などを用いて、丁寧に解説をしていくという内容になっております。

開催は、１１月３日日曜日祝日の午後２時から午後３時３０分までです。

会場は、多賀図書館４階の大ホールとなっております。

９月２０日金曜日から受付を開始しまして、既に満席となり、２４日で申し込み締切りとなりました。

４ 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和６年１０月２４日（木）午後１時３０分から、日立市役所３階３０４・３０５号会議室で開催予定です。

５ 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会９月定例会を終了いたします。

以 上